

平成 22 年度 実施メニュー実施結果表

取 組 名	夏休み親子森林教室・木工教室（継続）
流 域 名	千葉北部
実施箇所及び実施日	千葉森林管理事務所 千葉県千葉市 稲毛国有林 （平成 22 年 8 月 5 日（木））
取組の背景及び必要性	<p>環境教育に対する関心が高まっており、小学生親子を対象とした森林教室、木工体験は効果が認められる。</p> <p>また、地域住民に千葉森林管理事務所を P R する機会にもなる。</p>
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林・林業に対する理解者の拡大を図るため、夏休み期間に講演、ネイチャーゲームによる森林教室と木工教室を実施している。</p> <p>【平成 22 年度の取組内容】 稲毛国有林内「野鳥の森」で森林の育て方や作業道具の説明などの森林教室と、千葉森林管理事務所内で小枝・木の実などで木工体験を行った。昼休み時間では「野鳥の森」でラワンの種の模型を使い、自然の中で遊ばせた。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 （企画、募集、実行、工作指導）
連携協働相手先・役割	

【 参 考 資 料 】

取 組 名 夏休み親子森林教室・木工教室

○所長挨拶



○森林教室



○木工教室



○ラワンのタネ（模型）飛ばし



○完成品



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林クラフト教室（継続）
流域名	千葉北部
実施箇所及び実施日	千葉森林管理事務所 （平成22年11月30日（火）～12月2日（木））
取組の背景及び必要性	<p>自然素材を使ってクリスマスリースを作る取組を通じて、自然に親しみ、森林・林業の普及啓発を図るものであり、今後の進展が期待される。</p> <p>また、地域住民に千葉森林管理事務所をPRする機会にもなる。</p>
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林・林業に対する理解者の拡大を図るため、12月に蔓や木の実を使用してクリスマスリースを作る森林クラフト教室を都市住民を対象に実施している。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 千葉森林管理事務所内でクリスマスリース作りを実施した。アドバイザーとして、毎回ガールスカウトにご協力いただいている。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 （企画、実行、リース材料集め、作製指導）
連携協働相手先・役割	ガールスカウト千葉県支部千葉地区協議会 (作製補助)

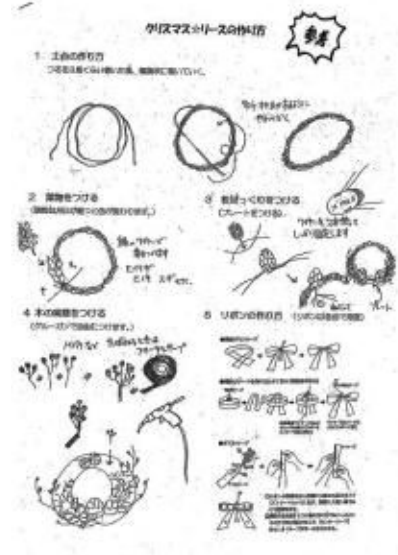
【参考資料】

取組名 森林クラフト教室

○材料選び



○リーフレット



○リース作り



○完成品



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	出前森林教室（継続）
流域名	千葉北部
実施箇所及び実施日	稲毛中学校（平成22年5月27日（木）） 磯辺第二中学校（平成22年6月24日（木）） 場所：千葉森林管理事務所 花見川第一中学校（平成22年10月20日（水）） 場所：花見川第一中学校体育館
取組の背景及び必要性	学校教育の一環として行われる校外学習の中に、森林・林業と関係の深いものがあり、事前に森林・林業について学んでから校外学習を行うことで、より深い学習効果を期待するものである。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 千葉市の施設である高原千葉村で林業体験を実施する中学生に対し、事前に森林教室を行っている。</p> <p>【平成22年度の取組】 稲毛中学校の生徒11名に対して、ビデオとパワーポイントを用いて森林教室と簡単な木工体験を実施した。 磯辺第二中学校の生徒17名に対して、ビデオとパワーポイントを用いて森林教室と簡単な木工体験を実施した。 花見川第一中学校体育館で生徒108名に対して、ビデオとパワーポイントを用いて森林教室を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所（事前森林教室） 赤谷森林環境保全ふれあいセンター、利根沼田森林管理署 （校外学習先での森林教室、林業体験）
連携協働相手先・役割	各中学校（日程の調整、場所の提供） 千葉市高原千葉村（連絡調整）

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林の公益的機能PR推進事業（継続）
流域名	千葉北部・千葉南部
実施箇所及び実施日	稲毛区民まつり：千葉県千葉市稲毛区 穴川中央公園 （平成22年10月17日（日）） 養老溪谷もみじまつり：千葉県夷隅郡大多喜町 会所分校 （平成22年11月23日（火））
取組の背景及び必要性	地元自治体が開催するイベントに参加協力し、森林・林業のPR、森林教室、木工教室等を行うことにより、森林・林業の重要性を理解する者の拡大が期待できる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 地域のイベントに参加協力し、森林の公益的機能のPRを通じて、森林の重要性を理解してもらうよう取り組んでいる。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 穴川中央公園で行われた稲毛区民まつりに参加し、木工品販売、チラシ配布、緑の募金、子供用の木工体験・竹ポックリづくりなど実施した。</p> <p>会所分校で行われた大多喜町のもみじ祭りに参加し、木工教室、木工品の販売等を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 (木工教室、木工品販売等)
連携協働相手先・役割	稲毛区民まつり実行委員会、大多喜町の各種団体 (企画、運営)

【参考資料】

取組名	森林の公益的機能PR推進事業 (稲毛区民まつり、会所もみじまつり)
-----	--------------------------------------

○稲毛区民まつり



木工品展示販売



木工教室



竹ぽっくり



外観

○会所もみじまつり



木工品展示販売



木工教室

国民の森林 国有林

国有林はみなさんの大切な財産です
 「国有林」とは、国が所有する森林・原野のこと
 で、「国民共通の財産」です。
 「国有林」は全国各地に広がり、その多くは地形
 の急峻な奥地の山々や河川の源流などに分布してい
 ます。「国有林」の多くは水源を守り、土砂崩れな
 どの災害を防ぐといった公益的な役割を果たしてい
 ます。また、自然環境の保全、産業振興などの役割
 も果たしています。

千葉森林管理事務所は、千葉県内に広がる約
 7,800HAの国有林(千葉マリンスタジアム約2,000
 個分)を管理経営しています。自然と調和を図りな
 がら、木材の生産、森林整備などの様々な取り組
 みを行っています。

関東森林管理局 千葉森林管理事務所
 〒263-0034 千葉市稲毛区稲毛1-7-20
 ☎043-242-4656



<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tiba/index.html>

配布用チラシ

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	職場体験学習（継続）
流域名	千葉北部、千葉南部
実施箇所及び実施日	高洲第一中学校（平成22年9月14（火）～16日（木）） 千葉森林管理事務所、稲毛国有林 稲毛中学校（平成22年11月9日（火）～11日（木）） 千葉森林管理事務所、戸崎国有林ほか
取組の背景及び必要性	学校教育の一環としての職場体験学習であり、キャリア教育の必要性が高まる中、中学校側は地元の協力事業体を求めている。地域の教育活動に貢献すると同時に、国有林野事業をPRする機会ともなる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 職場体験を希望する中学校からの依頼を受けて、生徒の受け入れを行っている。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 高洲第一中学校の生徒4名に対して、千葉森林管理事務所・稲毛国有林内で国有林の仕事を紹介し、コンパス測量、測樹など体験してもらった。</p> <p>稲毛中学校の生徒3名に対して、千葉森林管理事務所・戸崎国有林内で林業作業など実際に体験してもらい、木材市場などの見学を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 (職場体験の指導)
連携協働相手先・役割	各中学校 (生徒への事前指導等) 千葉県木材市場協同組合、株式会社マルトシ (見学案内)

【参考資料】

取 組 名 職場体験学習

○高洲第一中学校



○稲毛中学校



千葉県木材市場協同組合

株式会社マルトシ

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林教室・体験林業（継続）
流域名	千葉南部
実施箇所及び実施日	千葉県木更津市高塚国有林（平成22年6月13日（日））
取組の背景及び必要性	環境教育に対する関心が高まっており、ガールスカウト等の子供達を対象にした森林教室・林業体験は効果が認められることから、この取組みの進展が期待される。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 ガールスカウトとボランティア協定を結んだフィールドを活用し、森林教室、林業体験を継続している。</p> <p>【平成22年度の取組内容】 ガールスカウト千葉地区協議会と木更津市高塚国有林内の「スカウトの森」で森林の育て方についての森林教室や下刈作業、火起こし体験・丸太切りを行った。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 (協力、森林教室、林業作業指導)
連携協働相手先・役割	ガールスカウト日本連盟 千葉県支部千葉地区協議会 (企画、募集、実行、年間事業計画による事業の遂行)

【参考資料】

取組名 森林教室・体験林業（スカウトの森）

○育林リーフレット

森林の手入れ



○育林についての説明



○下刈作業



○丸太切り体験



○火起こし体験



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	子ども樹木博士（継続）
流域名	千葉南部
実施箇所及び実施日	千葉県君津市 森林体験交流センター 千葉県君津市 城山国有林 （平成22年8月1日（日））
取組の背景及び必要性	日本樹木医会千葉県支部、千葉県森林インストラクター会が実施する事業に協賛・参加・フィールド提供し、木工教室等を行うことで木と親しむ機会を子供達に提供する。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 日本樹木医会千葉県支部、千葉県森林インストラクター会が実施する事業に協力することを通じて、森林・林業への理解と拡大を図っている。</p> <p>【平成22年度の取組】 君津市森林交流体験センターにて、隣接する城山国有林内のフィールドを提供し、子ども樹木博士と木工体験を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	千葉森林管理事務所 (フィールド提供、協力)
連携協働相手先・役割	日本樹木医会千葉県支部、千葉県森林インストラクター会 (企画、募集、実行、講師)

【参考資料】

取組名 子ども樹木博士

○ミーティング



○フィールド内での樹木観察



○木工教室



○子ども樹木博士ニュース

子ども樹木博士ニュース No.40

事例報告 千葉県森林インストラクター会 (FIC) 子ども樹木博士の取組

千葉県森林インストラクター会 事務局 小池 長彦

1 子ども樹木博士の進め方
FICでは、1グループ10名以内の子ども達に2名の説明者が付いて、森の中を歩きながら樹木の名前・特徴を説明する。その進め方の中で、説明した樹木の名前を、授業等を見て解説してもらう。
正解数により「子ども樹木博士」の認定証の認定を行う。認定証は、参加者の胸で一ひとり名前と認定証を貼み上げて保管している。
試験だけでは森の楽しさが十分説明できないので、試験後にクイズ等の遊びができるように準備している。

2 FICのこれまでの取組と特徴
FICでは習志野久保里(習志野)で平成14年から始め、今年で9年目を迎える。この間、千葉県、船橋市、習志野市など多くの地域で取組んでいる。
この会の大きな特徴として、FIC単独ではなく樹木医会千葉支部、NPO法人樹木の生命を守る会3者が協働で行っている。お互いが持っている樹木に対する知識を色々な角度から説明することで、子ども達により理解が深まればよいと考えている。
クワーツは千葉県森林管理事務所、里山クワーツ研究会の協力を得て行っている。

3 会の運営
毎回のことであるが人集めには苦労する。地元小学校の校長先生自ら生徒に呼びかけ応募に協力いただいた。

4 観察に
樹木の観察は理解しているが、樹木名を思い出せない子どもも多くいる。観察に楽しみ関心を持たせたい。この会の目的は達成しているが試験結果に反映されない。このことに関しては、会終了後いろいろな方面から議論し、面白い方向に突進している開発されている。会を続ける限り、永遠の課題である。
子ども樹木博士の原点に戻り、いろいろな説明に時間を割くより、単純に樹木の名前を覚えることから始める方がよいと考えている。また、参加者については、1人でも参加してあげたいという気持ちで、継続することがポイントと考えている。
昨年からは認定証授与の時に尋問の順番で順番を試み始めた。試験の成績に関係なく、子ども達が認定証を受ける時の喜びの顔をみるたびに関係者として達成感を感じる。

FIC会員の取組と表彰による発表

4